

2025 年 10 月 15 日

島根考古学会
会長 大谷晃二

『島根考古学会誌』第 41 集掲載論文の研究者倫理違反の認定について

当会刊行の『島根考古学会誌』第 41 集に掲載された論文について厳正に調査した結果、研究者倫理に違反することが認められましたので、下記のとおり対応します。

記

1 該当する論文

山岡渉・江草由梨・小野多恵・山岡美奈「福山市内の石垣等の石材属性（矢穴・刻印・石垣勾配）について―福山城跡伏見櫓台の一部調査の成果からみえるもの（予察）―」『島根考古学会誌』第 41 集、島根考古学会、pp. 133-146、2024 年 3 月 31 日刊行

2 研究者倫理違反の内容

- ・二重投稿（本会誌以外でも同様の内容の論文を投稿していた）
- ・不適切なオーサーシップ（論文の実際の執筆者以外の者が著者にあげられていた）

3 本会の対応

- ・厳重注意
- ・当該論文の抹消
- ・筆頭著者は 2025 年 10 月 1 日より 2 年間の投稿禁止
- ・その他著者は 2025 年 10 月 1 日より 1 年間の投稿禁止

以上